



2019年度ティーチャーズ・トレーニング連続講座 第2期

TOMOはうす

発達障害のある子どもやグレーゾーンの子どもの対応に悩むことはありませんか。

このトレーニングは、担任の先生や支援者の方々がこれらの子どもたちの特徴を理解し、様々な集団の場において子どもたちとよりよいコミュニケーションを図りながら対応していく具体的な方法を学んでいきます。「どのタイミングで」「どこに立って」「どんな表情で」「何と言って」子どもたちに接していくのか、ロールプレイしながら楽しく学ぶトレーニングです。

2018年度は、高知市で2コース、仁淀川町で1コース開催され、トレーニングを受ける前と後を比べると受講者のみなさんの困り感が激減し、大変好評でした。

【日々の実践の困り感】

	1	2	3	4	5	6	7
	↺	↺	↺	↺	↺	↺	↺
	全くない	ほとんどない	あまりない	どちらともいえない	少しある	ある	非常にある
	トレーニング前		トレーニング後				
高知市	平均 5.8		平均 3.4				
仁淀川町	平均 6.1		平均 2.9				

「学級が荒れかけていたが落ち着いた（採用3年目小学校教諭）」「子どもがこわくて学童の支援員をやめようかと思っていたが、このトレーニングのおかげで楽しく支援ができた（60代学童支援員）」「問題行動が起こった時に、今までは（どうしよう）と途方に暮れていたが、今では

（そうきたか）と心に余裕ができ、トレーニングで学んだことの中で、どの接し方で子どもに対応しようか、と考えるようになり何だか楽しくなってきた（小学校講師）」等々、受講者からはこのトレーニングの有効性を語る感想がたくさん寄せられました。

人は見たり聞いたりしただけでは、わかったつもりでも、なかなか自分のふるまい方を変えることは難しいです。このトレーニングは、半年間かけて「先生役」「子ども役」をロールプレイして対応の仕方を学びます。→学んだことを次回までに職場で子どもたちに実践→成功例、失敗例ともに次回トレーニングで報告→失敗例はその問題点を明らかにし、成功例はみんなで共有…このサイクルで半年間学び続けるので、みなさん、みるみる対応の仕方が上手になっていきます。そして受講者同士が素敵な仲間となります。

こんな楽しくて深い学びができるトレーニングを、あなたも一緒にトライしてみませんか。

☆日時：毎月1回（土 or 日）9：30～11：30×6回 終了3か月後フォローアップ1回（全7回）

①7/28 ②8/31 ③回目以降：2学期は行事が多いため参加者と日程調整の上きめます。

☆場所：こうち男女共同参画センター・ソーレ（高知市旭町3丁目115 Tel088-873-9100）

☆参加費：14,000円

☆定員：10名まで（定員になり次第しめきります。）

【講師】久武夕希子（特別支援教育士）辻田亜子（特別支援学校教諭）梨岡由記（保育士）



質問、申し込み等は、

①お名前 ②所属 ③職種 ④すぐ連絡がつくメールアドレス ⑤すぐ連絡がつく電話番号
を明記の上、下記（TOMOはうす・久武）までお願いします。



TOMOはうす

HP <http://tomohouse2012.jp>

ブログ <https://tomohouse.blogspot.jp/>

メールアドレス tomohouse2012@gmail.com



大和証券福祉財団「第25回ボランティア活動助成」助成事業